

<ミッション>

**ロボットを走らせ 月面エリアにたまごを置け。
そして月面の金と銀のボールをひろって帰還せよ！**



<基本ルール>

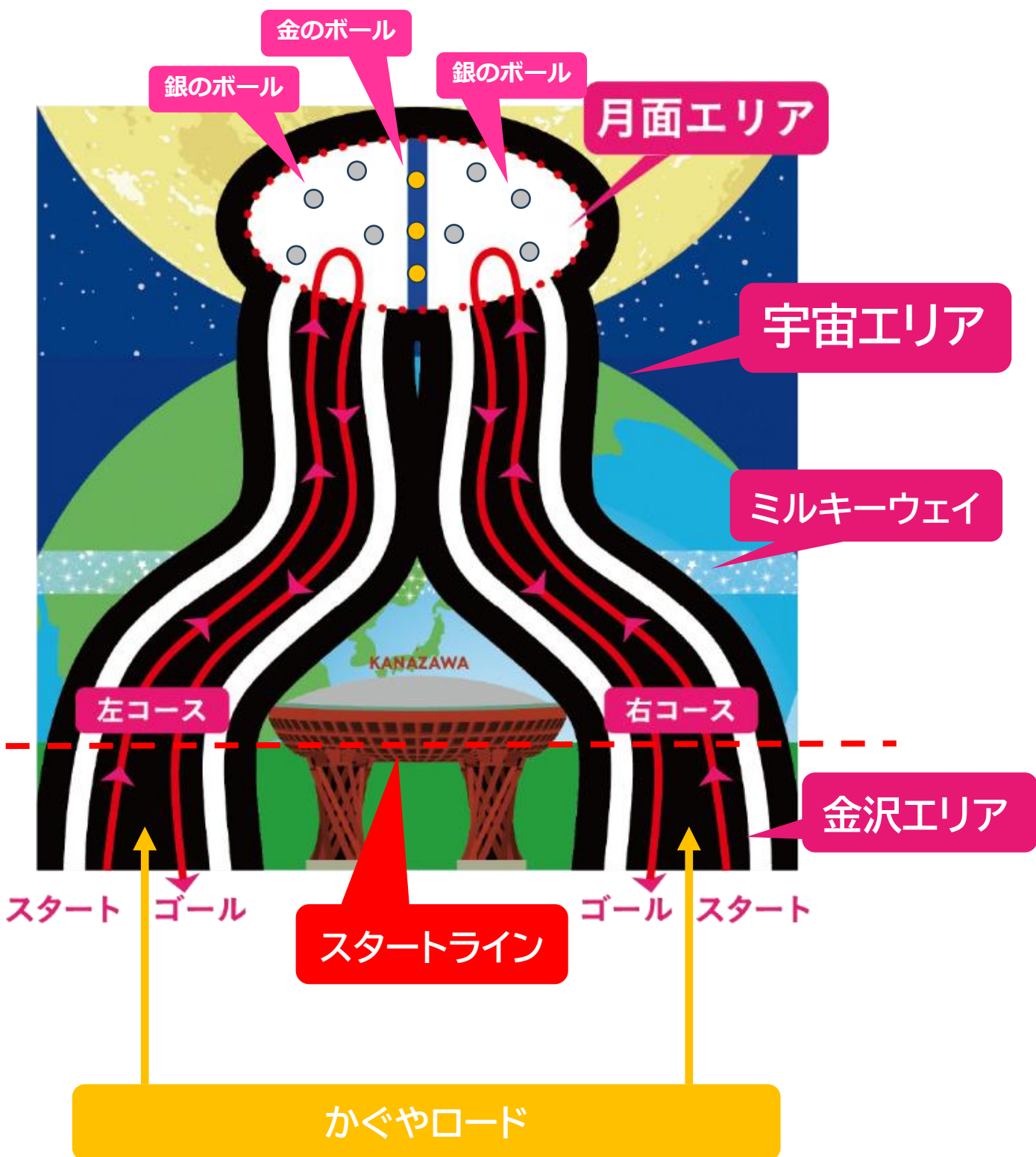
- 1) たまごを乗せたロボットを金沢エリアのかぐやロード上に置き、合図とともにスタートします。

2026
追加

※ロボットの接地部分が、かぐやロードの黒い部分を踏んでいる必要があります。
- 2) 各自のかぐやロードのどこを走っても良いので、月面エリアに行ってたまごを置き、金沢エリアに戻ってきます。
- 3) たまごを月面エリア内に置くとポイントがもらえます。
月面エリア内に置いたたまごが転がり出てもポイントは認められます。
月面エリアの外に置いたたまごが転がって入ったとしてもポイントは認められません。
- 4) 自分の月面エリアにある銀のボールを持って帰ると、ポイントがもらえます。
- 5) 月面エリアの真ん中の台の上にある金のボールを持って帰ると、追加ポイントがもらえます。（金のボールは 本選のみ）
- 6) 競技途中で手をあげて「リトライ」と言うとポイントをリセットし、金沢エリアから何度でも再スタートできます。
※ポイントはリセットされます。
※獲得した銀のボールは元の位置に戻されます。
獲得した金のボールは紛失とし元の位置に戻しません。
- 7) 試合時間終了前に終わりたい時は「フィニッシュ」と言えば、その時点で獲得したポイントが確定します。その後は「リトライ」できません。

<コース>

サイズ：タテ360cm × ヨコ360cm



<コース説明>

- 1) かぐやロードは左右対象につくられ、手前から金沢エリア、宇宙エリア、月面エリアの3つのエリアに分けられています。
- 2) 宇宙エリアにはミルキーウェイ(あまのがわ)があります。
- 3) かぐやロードは図のように黒地に左右が白ラインで囲まれた道です。かぐやロードの外には障害物(隕石)があります。
※白ラインの幅は10cmです。ラインの外15cmに障害物はありません。
- 4) 各自の月面エリアには銀のボールが4つ置いてあります。ボールは決まった場所に置いてあります。 [大会当日発表]
※銀のボールは、直径4cmのピンポンボールに面ファスナー(ループ)で加工したものです。
- 5) 月面エリアの真ん中には高さ5cmの台があり、その上の決まった場所に金のボールが3つ置いてあります。
※金のボールは 相手より先に取った者勝ちです。
※金のボールは、直径4cmのピンポンボールに面ファスナー(ループ)で加工したものです。



- 6) ロボットが金や銀のボールを落としてしまった場合、競技中は動かさせません。
ただし、対戦相手が動かしてしまった場合など、戻す必要があると審判長が判断した場合は審判員が戻します。

<使用するロボット>

- 1) 自分で作ったカニ型ロボット（たて25cm x 横25cm x 高さ25cm以内）を使用できます。
スタート後に腕を伸ばすなどロボットのサイズが大きくなってもかまいません。ただし、対戦相手をじゃまするような動きの場合は、審判長に止められる場合があります。
- 2) 車輪型でもOKですが、歩行型ロボットだと追加得点がもらえます。
※歩行型とは足の往復運動によって進むしくみと形のことをいいます。
前歩き、横歩きどちらでも構いません。
- 3) 自律動作型ロボットで参加してください。
遠隔または有線によるコントロールは禁止です。
- 4) 液体、火気も使用禁止です。
- 5) たまご（12g・赤色・直径4cm）
※ころがりをおさえるための粒が中に入っています。
※たまごは、大会当日に運営事務局が準備します。
※たまごはロボットに「乗せた状態」で運ぶこと（転がして運べない）



- 6) 競技開始時刻の10分前に車検があります。
この車検を受けた後は、各自の競技まではロボットに触れたり、プログラムを書き替えることはできません。
- 7) 各自の競技時間中に、プログラムの書き替え、ロボットの部品交換は自由です。
※プログラムの書き替えは、指定エリアで行うこと。またロボットの部品交換はスタート地点で行うこと。（詳しくは次のページへ）

<大会スケジュールの各時間にできること、できないこと>

○本試走会

- ・ピットでの作業と、試走コースでの試走は可能です。
- ・コーチ/保護者との会話(相談/指示)はOKです。※決められたエリアで
- ・コーチ/保護者がロボットに触ることはできません。
(プログラムを見ることも含む)

○予選車検

- ・開会式までにロボットを車検台に置いてください。

○予選競技中(予選中の休憩含む)

- ・車検台に置いたロボットに触れることはできません。
- ・競技の順番になったら、車検台からロボットを持って待機席に座ってください。
- ・競技が終了したら、ロボットは車検台に戻してピットに帰ります。
- ・自分の競技時間(3分間)の間は、ロボットの改造やプログラムの修正が可能です。

○昼休み

- ・車検台からロボットを持ち出してピットで作業可能です。
- ・コースでの試走はできません。
- ・コーチ/保護者との会話(相談/指示)はOKです。※決められたエリアで
- ・コーチ/保護者がロボットに触ることはできません。
(プログラムを見ることも含む)

○最終調整時間(本選進出者発表後)

- ・ピットで作業可能です。
- ・コースでの試走はできません。
- ・コーチ/保護者との会話(相談/指示)はOKです。※決められたエリアで
- ・コーチ/保護者がロボットに触ることはできません。
(プログラムを見ることも含む)

○本選車検

- ・車検開始までにロボットを車検台に置いてください。

○本選競技中

- ・本選出場選手は全員、待機席に座ります。ピットには戻れません。
- ・車検台に置いたロボットに触れることはできません。
- ・競技の順番になったら、車検台からロボットを持って待機席に座ります。
- ・競技が終了したら、ロボットは車検台に戻して待機席に戻ります。
- ・自分の競技時間(3分間)の間は、ロボットの改造やプログラムの修正が可能です。

<試合方式>

試合は予選と本選があります。

1) 予選について

- ・予選の競技順は抽選で決定します。
- ・予選は2回走行します。
 - 1 走目と2 走目において異なるコースを走行します。
 - 1 走目が「左コース」の場合、2 走目は「右コース」
 - 1 走目が「右コース」の場合、2 走目は「左コース」
- ・予選は3 分間です。
 - 3 分間内で何度もリトライすることができます。
- ・獲得したベストポイント上位16チームが本選に出場します。
 - 同点の場合は、2ndポイント、タイムの早さ、から順位を決定します。
- ・予選では 金のボールはありません。

2) 本選について

- ・本選は、トーナメント戦です。
 - トーナメントの競技順は、上位8チームは予選の結果で、9～16位のチームは抽選で決定します。
- ・本選は1 試合 1 走行です。
- ・1 試合は3 分間です。
 - 3 分間内で何度もリトライすることができます。
- ・獲得したポイントの多いチームを勝利チームとします。
 - 同点の場合は、タイムの早いチームを勝利チームとします。

<表彰>

本選トーナメントの結果 1位、2位、3位、のほかに、デザイン賞とアイデア賞が表彰されます。

- ・デザイン賞は、予選含む全競技者を対象に審査します。
 - ロボットのデザインが優れたものが選出されます。
- ・アイデア賞は、PRシートを提出頂いた方を対象に審査します。
 - PRシートは大会当日の受付時に提出ください。(提出は任意です)
 - PRシートにはロボットの特徴やアイデア、苦労した点、などPRしたい点を記入ください。その記載内容から選出されます。

<ポイントについて>

項目		ポイント
1	ロボット全体が金沢エリアを出た	1点
2	ロボット全体がミルキーウェイを越えた（行き）	1点
3	ロボット全体が月面エリアに入った	1点
4	月面エリアにたまごを置いた （たまごを産んだあとに、月面エリアから転がり出てもOK）	3点
5	ロボット全体が金沢エリアに戻ってきた	2点
6	自分専用の銀のボールを金沢エリアに持ち帰った（4個まで）	1個1点
7	金のボールを金沢エリアに持ち帰った（3個まで）	1個1点
8	歩行型ロボットである ※条件 車検時に判定し、かつ、ロボットがゴール状態になった場合に付与される	5点

2026
変更

<その他>

- 1) ロボットに手が届かないところでリトライするときは、審判員がロボットを回収して、チームの人に渡します。
- 2) ロボットが相手のかぐやロードに入って妨害してしまったら、進路妨害として 強制再スタートになります。
※ポイントはリセットされます。
※獲得した銀のボールは元の位置に戻されます。
獲得した金のボールは紛失とし元の位置に戻しません。
- 3) その他、両者とも競技続行できないような状態になった場合は、審判長の言うとおりに、再スタートすることがあります。
- 4) ルールについては多少変更の可能性がります。